

### 渡邊隆新議長・

### 櫛毛隆行新副議長が就任



令和4年第2回市議会臨時会が5月17日（火）に行われ、選挙の結果、議長に渡邊隆（57歳・3期・写真左）、副議長に櫛毛隆行（54歳・2期・写真右）が選出されました。

また、監査委員には、大瀧和弘議員（58歳・3期）が選任され、新体制がスタートしました。

### 新型コロナウイルス退散を願って能面を寄贈



5月18日（水）、上大曾在住の大友義夫さん（88）が市役所を訪れ、市に「白般若」「小面」などの能面5作品を寄贈しました。

大友さんは、70歳の頃から独学で能面作りを続け、今回の能面には新型コロナウイルス退散の願いが込められています。

### 真岡市アンバサダー

### 上野優作さんに委嘱



5月20日（金）、本市出身でサッカー日本代表コーチを務める上野優作さんを真岡市アンバサダーに任命し、委嘱状を交付しました。

真岡市アンバサダーは、スポーツや文化、芸能の分野で活躍している市の出身者やゆかりの人を任命し、市のイメージアップやその分野の振興を図ろうというものです。

石坂市長からは委嘱状と併せて、芝生をイメージしたアンバサダーの名刺が手渡され、上野さんからは、日本代表のユニフォームが寄贈されました。上野さんは「これからサッカーあるいはスポーツを通じて、真岡市の発展に貢献できるように頑張っていきたい」と、意気込みを述べていました。



### とちぎ国体へ協賛品寄贈



「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の実行委員会へ協賛品が寄贈され、6月3日（金）、石坂市長から感謝状が贈呈されました。

株式会社コベルコパワー真岡（藤尾明久代表取締役社長）からは、PR用シートが寄贈されました。このシートは縦2.0m、横22.8mで、鬼怒ヶ丘地内の同社の防音壁に設置されています。

### 新任民生委員・児童委員

### の紹介



6月1日付けで、日向野和枝さん（熊倉4（大倉）の一部地区担当）が新たに民生委員・児童委員に就任しました。

日向野さんは今後、地域の皆さまの生活上のさまざまな相談に応じ、適切な支援やサービスが受けられるよう、市や関係機関とのつながり役となります。

### 新年度 まちつく始動！



6月4日（土）、今年度1回目の「真岡まちづくりプロジェクト」（以下、まちつく）ワークショップが行われました。今年度のメンバー募集では、定員20人を超える多くの応募があり、高校生・大学生、合わせて41人の新規メンバーを受け入れています。

今回は「まちあるき」として、五行川河川緑地を出発し、岡部記念館「金鈴荘」や門前地区を歩き、前年度の取り組みについて学びました。その後、市役所青空ステーションで、参加者それぞれが、まちつくでどのような活動をしたか、まちづくりに関する希望を書いて発表し、全体で共有しました。

今後、メンバーの活動やイベントの告知等は、真岡市まちづくりプロジェクトのInstagramで配信予定です。



Instagram  
@mokamachidukuri

### それいけ！ まちびと

このコーナーでは、真岡市で活躍する方を地域おこし協力隊が取材し、紹介します。今回も、栗村隊員が「真岡まちづくりプロジェクト」のメンバーを取材しました！



栗村隊員

真岡まちづくりプロジェクト（以下、まちつく）メンバーの1人である伊澤さん。普段は工場や機械の設計、工事を幅広く手掛ける株式会社大泉エンジニアリングの代表を務めます。昨年のもちつくの活動では、主に五行川河川緑地を活用する「RIVER+」チームとして、高校生、大学生メンバーを全面的にサポート。伊澤さんは「若いメンバーに『やってよかった』と思ってもらえることが一番だと思うんです。活動を通して、メンバーがキラキラと変わっていく姿を見るのが楽しいですね」とまちつくの面白さを語りつつ「まちは愛着を持ってもらえないと衰退する。良い店を見つけたとか魅力的な人に出会ったとか、愛着が湧く『コト』を生み出すのが大切。次の時代を担う子どもたちが育ち、帰ってきたいと思える環境をつくりたいです」と意気込みをお話くださいました！



株式会社  
大泉エンジニアリング  
いざわ まなぶ  
伊澤 学さん

### 亀山小学校で交通安全教室



5月20日（金）、亀山小学校で、交通安全教室が開催されました。この教室は、栃木県トラック協会協力のもと、長田交番と交通指導員、くらし安全課交通防犯係が連携して実現したもので、全校生徒が参加しました。

左折巻き込み事故の実験では、人形が大型トラックの内側に巻き込まれて倒される場面を再現し、子どもたちから悲鳴が上がりました。

横断歩道の渡り方の指導もあり、渡り始めと物陰から出るときは、車が来ていないか、右左右と確認して道路を渡るよう指導を受け、登校班ごとに実践しました。また、実際に大型トラックの運転席に乗り、車体の近くに人が居ても見えない「死角」があることも体験しました。

三田校長からは「今日学んだことを生かし、自分の命を守り、安全な登下校や生活ができるように頑張っていきましょう」と講評がありました。